



Report 2025

事業・社会・環境活動



みらいへ
かえる
コープ
TOTTORI COOP



鳥取県生協 2030年ビジョン

ともに生きる

～笑顔と思いやりでつながり、夢があふれる「くらしの協同」を実現します～



鳥取県生活協同組合

事業・社会・環境活動報告 発行にあたって

弊組は1950年12月に「鳥取県東部勤労者消費生活協同組合」として産声をあげ、今年度が創立75年目の事業年度となります。引き続き「地域勤労者生協」としての歴史を持つ伝統ある生協として、創設者の志を大切にしながら地域社会の期待に応え、組合員のくらしに役立つ生協としてこれからも地域貢献して参りたいと思います。

鳥取県生協は「共同購入(宅配)事業」「共済・保険事業」「夕食宅配事業」など柱になる事業に加えて「コープ葬祭」「COOP住まいる倶楽部(住宅リフォーム)」「提携店サービス」など様々な生活文化サービス、暮らしをサポートする事業を利用することができます。組合員は県下68,000世帯、地域世帯加入率では約30%となりました。今日、私たちを取り巻く経済・社会状況は不安定な国際情勢や経済環境の中で物価の高騰が続き、社会保障関連の負担が増すなど足元の暮らし、家計は大変厳しい状況となっています。また、店舗の過当競争の結果、店舗閉店等で買い物困難地域も多く発生しています。このような状況の中で非営利組織、共助の組織として暮らしと健康を守る生活協同組合の存在意義や役割の発揮が一層求められていると感じています。

国連は2012年に続き2025年を2回目の「国際協同組合年」と決めました。「協同組合はよりよい世界を築きます」がテーマとなっています。協同組合活動を盛んにし、SDGs(持続可能な開発目標)をより現実のものとするために、国連は協同組合を評価、重視し、期待を寄せています。「貧困」や「不平等の拡大」などSDGsの進捗は順調とは言えない状況ですが、みんなが幸せにらせる社会を目指して地域の中でまた世界中の協同組合どうしが「協同組合原則」を大切に、連帯していく必要があります。

ロシアのウクライナ侵攻に端を発した世界平和の不安定化に加え、イスラエルとパレスチナによる戦争も1年半にわたるなど各地の紛争が長期化しています。そのような中、昨年日本原水爆被爆者団体協議会が「ノーベル平和賞」を受賞したことは平和や核兵器廃絶を願う世界中の市民とその運動に大きな勇気を与えました。被爆・戦後80年の今年、私たちは例年にもまして「平和とより良き生活」そして「核兵器廃絶」の実現へ向けた取り組みを多くの国民とともに強めていきたいと思っています。

弊組はこの間一貫して組合員の力、また役職員の力を結集し、誰もが安心して暮らせる社会の実現、また平和や環境、エシカル消費などの取り組み推進で持続可能な社会の実現を目指してきました。改めて取り組みを強化していくため「鳥取県生協のSDGsアジェンダ」を推進し、「鳥取県生協の2030年ビジョン」(“ともに生きる”～笑顔と思いやりでつながり夢があふれるくらしの協同を実現します～)を実現していきます。そして5年後の「創立80周年」がより明るい未来となるよう、この報告書を目にいただいた多くの関係者の皆様とともに持続可能な地域・社会づくりへ向けた取り組みを進めていきたいと考えています。「一人は万人のために 万人は一人のために」

本報告書は、弊組としてこの1年間の事業活動と社会的取り組みについて取りまとめたものです。皆様のご助言を頂きながら幅広く活動をすすめるとともに、引き続き改善に努めていく所存です。今後とも御指導、御支援をよろしくお願い致します。



鳥取県生活協同組合
代表理事 理事長 井上 約
Hitoshi Inoue

編集方針

はじめに

鳥取県生協は総合マネジメントシステム(CMS)に基づくコンプライアンス体制の整備及び社会的に有効な取り組みをすすめています。事業・社会・環境活動報告書「CSRレポート」は品質、環境、個人情報保護、労働安全衛生などの取り組みを、組合員や取引先、行政などのステークホルダー(利害関係者)のみなさまに対して、適切な情報開示を行うことを目的に発行しています。

【報告期間】2024年4月1日～2025年3月31日

※一部、上記期間以前もしくは以後

直近の活動内容も含まれています。

生協とは

組合員の豊かな暮らしの実現を目的に、組合員自らが「出資」「運営」「利用」する非営利組織です。生産者と公平な取引を行い、自分達が利用する商品やサービスをよりよくしていくために声を出し合いながら運営します。



目次 Contents

・ごあいさつ／目次(Contents)／編集方針	1
・鳥取県生協の2030年ビジョン／鳥取県生協のプロフィール	2
・事業案内	3、4
・「食」の取り組み	5、6
・子育て・生活・被災地・地域支援の取り組み	7
・環境を守る取り組み	8
・組合員活動、地域貢献活動	9
・職場環境の整備、安全運転の取り組みなど	10



鳥取県生協の2030年ビジョン



鳥取県生協のプロフィール (2025年3月31日現在)

鳥取県生協の理念

1. 思いやりでつなぐ、人間らしい豊かなくらしの創造。
2. 参加・自立・協同で学び成長できる多数者の組織。
3. 地域との協同、連帯でつちかう地域社会への貢献。

名 称／鳥取県生活協同組合

本部所在地／鳥取県鳥取市河原町布袋597番地1

理 事 長／井上 約

事業内容／供給事業、共済・保険事業、夕食宅配事業

総事業高／77億1,684万円

出 資 金／22億674万円

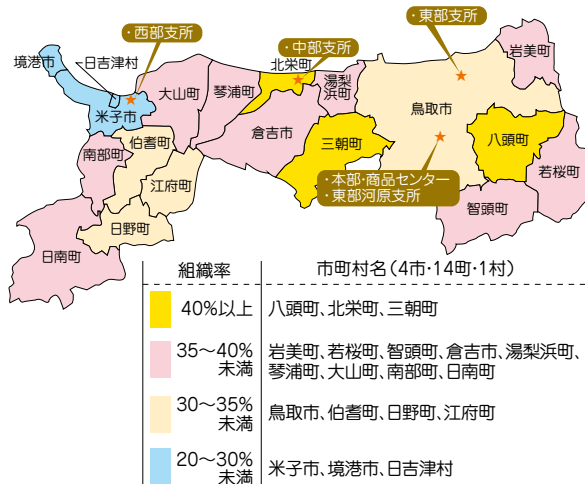
職 員 数／252人（正規、定時、出向者含む）

組合員数／67,798人

事 業 所／本部・商品センター、支所4ヶ所

子 会 社／(有)コープサービスとっとり

●鳥取県市町村別組織率一覧

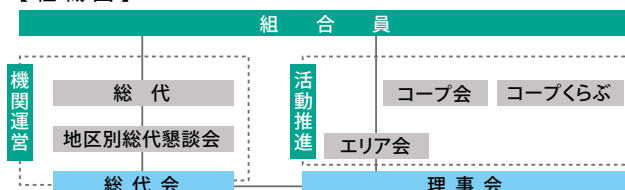


経営体制

組合員の代表である総代が、意見を持ち寄って参加し、1年間の活動と事業を振り返り、まとめと次年度の方針を決定する機関を総代会といいます。理事会は、総代会で決定された活動方針を月毎に具体化する他、生協全体の活動・運営に関する政策や方針を決定します。監事会は生協の財産状況や理事の業務執行状況の監査を実施し、監査に関する重要な事項について討議します。

健全で透明性の高い経営が実現できるよう、内部統制システムの整備の実施などをすすめています。

【組織図】





供給事業

カタログの中から注文した商品を、家庭や職場、ココステーションなどの暮らしに合った方法で利用する供給事業を展開しています。鳥取県内の配送を通して、地域や高齢者の見守り活動も行っています。

組合員の声を聞きながら使う立場で開発された「コープ商品」、安全安心な生産方法で顔の見える「産直商品」、人や環境、社会に配慮された「エシカルな商品」など、くらしや社会に役立つ商品を企画し、徹底した品温、品質管理でお届けしています。

ネット注文や配達状況確認、おすすめレシピやイベント申込などの便利な機能を備えた「コープアプリ」には、19,136名の方に登録いただいています。(2025年3月31日現在)

共同購入(班)

組合員が3人以上集まると班でご利用いただけます。指定の場所へ配送無料で、決まった曜日・時間にお届けします。



個人配達

おひとりでもご利用いただけます。個人宅の玄関まで商品をお届けし、個人配達料を減免するサポート制度でお買い物を支援しています。



ココステーション

県内に17ヶ所のステーションを設置し、開設時間内のご都合の良い時に商品を受け取れます。



法人・団体向けの利用制度

病院などの医療施設、介護などの福祉施設、学校や保育などの教育文化施設を対象に、法人・団体として出資金不要で生協を利用できる制度があります。



サポート制度

個人配達サポート制度でお買い物を支援しています。

個人配達サポート制度 さぽーとくらぶ		下記条件に該当する方は個人配達の手数料が減免となります。	
制度名称	制度条件・内容	制度名称	制度条件・内容
赤ちゃんサポート	妊娠中、または0歳のお子様がいらっしゃる方 ※ 1年間無料(0円) ※1〜3歳のお子様がいいらっしゃる方3歳の誕生日を迎えるまで ※ 半額125円(税込137円)/回	介護者サポート	ご本人またはご家族(同居)が介護認定を受けておられる世帯 ※ 半額125円(税込137円)/回 ※介護認定は要介護1以上が対象(要介護2以上)
シニアサポート	年齢が65歳以上または75歳以上またはご夫婦のみで住まいの方 ※ 半額125円(税込137円)/回 ※世帯が他の利用制度の対象となる場合は制度と重複できません。	免許証返納サポート	ご夫婦2人世帯(同居)または、おひとり世帯で組合員本人を含むご家族がいずれかが、運転免許証の自主返納を行い運転経歴証明書等の交付を受けておられる方 ※ 1年間無料(0円)
障がい者サポート	ご本人またはご家族(同居)が障害者手帳をお持ちの世帯 ※ 半額125円(税込137円)/回 ※心身に障がいのある方を対象)	※配達手数料は1回あたりの金額です。 ※個人配達サポート制度(さぽーとくらぶ)をご利用の場合は、確認書類の提示が必要となります。 ※個人配達サポート制度(さぽーとくらぶ)をご利用の方はご利用金額に応じた割引が適用されます。	

鳥取県生協は、赤ちゃんとお母さん・お父さんを応援します!

赤ちゃんサポートクラブ

特典その1

お子さんが1歳の誕生日を迎えるまで
2週に1回
サポート商品をプレゼント!

特典その2

ご登録時から個人配達手数料が
1年間無料

妊娠中もしくは、お子さんが1歳の誕生日を迎えられるまでにご利用いただくと

さらに

赤ちゃんが3歳の誕生日を迎えるまで
半額!

共済・保険事業

組合員のくらしの個人的リスク、社会的リスクに備えるため、組合員同士で「相互に助け合う」という精神で行う保障が「CO・OP共済」です。

CO・OP共済でまかなえない分野については、コープサービスと通りの保険商品も提供しながら、幅広い世代に必要な保障でくらしの安心を支えます。2024年度は、

2,683名の方にご加入いただき「たすけあいの輪」が広がりました。9月には、お誕生前から申し込みができる子ども向け保障がスタート。共済マイページは契約者向けWebサービスとして、共済の手続きや保障内容の確認を行えるようにサポートしました。

また、組合員のくらしを総合的に守りつづけるため、コープサービスと通りが取り扱う全国制度の団体保険（ケガ保険、介護保険、三大疾病保険）との一体的なおすすめ活動を連携して行い、933件のご加入をいただきました。



コープサービスと通りは

鳥取県生協の子会社です。くらしのもしもに備える団体保険とともに、普段のくらしをより豊かにする文化サービスを展開しています。レンタルモップやハウスクリーニング、ピアノの調律と買取、ふとんの丸洗い、住宅リフォーム、シロアリ駆除、福祉・遺品整理、コープ車検、耳の聞こえ相談などのくらし応援サービスを行っています。

鳥取県生協の子会社です。くらしのもしもに備える団体保険とともに、普段のくらしをより豊かにする文化サービスを展開しています。レンタルモップやハウスクリーニング、ピアノの調律と買取、ふとんの丸洗い、住宅リフォーム、シロアリ駆除、福祉・遺品整理、コープ車検、耳の聞こえ相談などのくらし応援サービスを行っています。

夕食宅配事業

「高齢者支援」や「食事の準備に困っておられる方へ食生活の支援」等を目的に、2011年4月より県内での夕食宅配事業を開始しました。

2024年度は、1日あたり約1,822食の利用がありました。希望者には、祝日配送や休日用の冷凍商品のお届けを実施しました。



夕食宅配お届け

夕食宅配の特長

- ・管理栄養士監修
栄養バランスと塩分・カロリー控えめに考えた健康的な5日間の日替わりメニュー
※一部メニューで平日3日お届けも可
- ・安心安全
検査機関で細菌検査を実施した安全安心なお弁当
- ・無料配達
鳥取県内ならどこでも配達料無料でご自宅へお届け
- ・選べるおかず・お弁当
お好みに合わせた7種類のおかず・お弁当を2社から選択
- ・見守り活動
行政機関と連携した見守り活動を実施



↑お届けしているお弁当の一例です。



←やわらかく作られたお弁当の一例です。

見守り活動も行っています！

「お弁当がそのままになっている」「インターホンを押すが返答がない」「いつもの空箱がない」など、夕食宅配のスタッフが、状況を判断し、家族に連絡をとる、行政につなぐなどの連携を行う見守り活動も行っています。

2024年度は、69件の見守り事案が発生し、27件を行政と連携しました。



「食」を真ん中に

産直の取り組み

安全安心でおいしい農産物を求める組合員の声に応えるとともに、日本と鳥取の豊かな農畜水産業の振興に貢献するための産直事業に取り組んでいます。現在、17団体26品目で産直提携を結んでおり、毎年「産直 虹のつどい」「産直ミニ懇談会」「鳥取県せいきょうまつり」等で、生産者と組合員が交流し、学び合いながら、パートナーシップ（協働関係）の発展に努めています。

鳥取県生協の産直三原則



生産者と生産地、栽培・肥育方法（農薬・肥料・飼料等）が明確であること



組合員と生産者が交流できること



産直事業として、適正な取引価格を追求し、事業の継続発展が進められること



5年ごとの“周年”を迎えた産地のみなさんへ、組合員から募集したメッセージを一冊のアルバムにして届ける「産直つながろうプロジェクト」に取り組みました。産地からもメッセージをいただき、機関紙を通じて組合員へ発信し、産地と私たちの想いと絆を深めました。



マルイ食品でのアルバム贈呈式の様子

2024年度は、
産直提携25周年
産直ながのりんご（信州産直組合）
産直提携15周年
南国元気鶏（マルイ食品）
の産地へメッセージをお届けしました。

産直 虹のつどい

産直商品や水産加工品を生産している生産者・メーカーと組合員が直接交流を行う「産直虹のつどい」を開催しました。2024年度は「未来へ ～みんなで支え合おう産直の輪～」をテーマに、活動報告や直接交流を行い、生産へのこだわりや苦労、持続可能な生産について学び合いました。



生産者と組合員の交流の様子



「生協だからこそ」の商品を広げる活動

今週の逸品



2024年度に開発された「しもつコープファームの摘果果汁を使ったポン酢」



「安心・安全」を基本に、組合員のくらしと健康に貢献し、産直や地産地消の視点を大切に「生協だからこそ」の商品を、組合員活動とも連動して学びながら利用普及しています。

産直提携を結んでいる和歌山県下津市のしもつコープファームで摘果され廃棄される柑橘の果汁を使った環境にも人にもやさしい商品を開発し、たくさんご利用いただきました。

商品開発テスター会議



2024年度商品開発テスター会議メンバー

組合員で構成される「商品開発テスター会議」を開催し、組合員から寄せられる「こんな商品があったらいいな」の声や要望について、おしゃべりや改良を繰り返しながら組合員の願いを形にする商品開発を行っています。

「食の安全政策(鳥取県生協版)」の理解を深める取り組み

食の安全を取り巻くさまざまな問題の重層化、行政の仕組み・科学的知見の変化などを踏まえ、鳥取県生協としての考え方を改めて整理し、食の安全を求める組合員の願いに応え続けていくための取り組みをすすめています。

食の安全政策の主な項目

- 「食の安心・安全」とは
- 衛生管理に対する考え方
- 産直に対する考え方
- 化学物質の規制と使用基準に対する考え方
- 輸入食品に対する考え方
- 表示に対する考え方
- 食生活提案
- 商品をお届けするにあたり大切にしたいこと



※「食の安全政策」は鳥取県生協のホームページで公開しています。



「たべる*たいせつキッズクラブ」での食品添加物実験教室のようす

食育の取り組み

食べることの楽しさや元気な体づくり、作る人への感謝の気持ちを育むきっかけづくりをお手伝いしている「たべる*たいせつキッズクラブ」に、120家族187名の登録をいただきました。(2024年度)

季節ごとに旬の食べものを学ぶキッズブックや通信、生協商品を使った親子調理食材の配布を実施しました。また、産地提携米の田植え・稲刈り体験、大山乳業の工場見学、伝統食のいただきづくり等のオリジナルイベントも開催しました。



伝統食「いただきづくり」のようす

食を通じた社会貢献「エシカル」

エシカル—Ethical—とは、直訳すると「倫理的」という意味です。生協では地域や環境、社会や人々に配慮してモノやサービスを買うことを「エシカルなお買い物」(エシカル消費)と表現し、「誰かの笑顔につながるお買い物」を積極的に応援しています。

生協ではエシカル消費を「地域」「環境」「社会」「人々」の4つの視点ですすすめています。

※以下の取り組みは一例です。

1 豊かな**地域**を作り出せたら

コブ商品は、生産者とのつながりや国産原料の使用拡大を通じて、日本の農畜水産業を応援します。



主要な原料に国産素材を使用して
いる商品につけられるマーク。



商品の一例

3 公正な**社会**の仕組みが作り出せたら

商品を通じて、社会インフラの改善や社会的公正の実現などにつながるテーマです。



商品の一例

国際フェアトレード基準に基づいて認証を受けた商品につけられた認証マーク。

※フェアトレードとは…発展途上国の農産物や製品などを市場価格で買い付けるのではなく、農家の生活が成り立つように考慮した「フェア(公正)な価格」で継続的に輸入し、消費する取り組み。

2 地球の**環境**を守り続けることができたなら

環境配慮は、生協の歴史の中でも大きなテーマです。毎年、環境配慮商品の開発目標を決めて積極的に取り組んでいます。

漁期や漁獲量などを制限し、
水産資源を守る



商品の一例

持続可能な漁業で獲られた水産物につけられる
認証ラベル。

4 **人々**の「生きる」を支えることができたなら

くらしの問題の改善やハンディキャップを持つ人々の支援などにつながるテーマです。

挑戦する人々を応援

応援食クッキー1袋につき1円を特定非営利活動法人「日本障害者スキー連盟ノルディックスキーチーム」に寄付し、次世代を担うジュニアチームの合宿などに活用されます。



商品の一例

SDGs・エシカルチャレンジ

毎年、夏と冬に「自分にもできるエシカルな取り組み」に挑戦する「SDGs・エシカルチャレンジ」を実践しています。2024年度は、1,162名の組合員が挑戦しました。未来へのメッセージやかわいいイラストも届きました。



エシカルな商品の一例

未来へのメッセージや
かわいいイラストも
届きました

未来は今から作れます。
一人一人の行動で変えられます。
SDGsを学んで実践!!
(12才)



子育て支援

鳥取県内全市町村と「子育て支援に関する連携協定」を締結し、赤ちゃんを出産した家庭に、市町村ごとのメッセージや子育て支援情報、協賛企業・団体からのプレゼント、生協商品などをセットにした「はじめてばこ」をご希望の方に無償でお届けしています。

また、「赤ちゃんサポートクラブ」の買い物支援や子育て応援情報の提供、地域での子育てを応援する「子育てひろば」を各エリアで開催しています。

「はじめてばこ」の取り組み



県内の各市町村が取り組む少子化対策や子育て支援

事業と、生協の子育て支援活動などを連携するために、鳥取県内全市町村と「子育て支援に関する連携協定」を結んでいます。

BSS山陰放送主催の「Hello! Dear Baby」の取り組みとも連携し、鳥取県内に生まれてきた赤ちゃんへ「はじめてばこ」をお届けする取り組みを行っています。

2024年度は、2,174家族に「はじめてばこ」をお届けしました。

子育てひろば



子育てひろばの様子

東部、中部、西部の各エリアで、子育ての情報交換や、お母さんがホッとできる場所として、未就園児を対象とした「子育てひろば」を開催しています。

離乳食や食物アレルギーに対応した子育て応援食品カタログ「ふぁみ〜ゆ」をお届けしています。

生活支援

フードサポート事業 フードドライブ事業



フードサポート事業の取り組みでは、鳥取県生協の予備食品を活用し、行政や社会福祉協議会を通じて、生活困窮者自立支援に役立てられています。また「麒麟のまち地域食堂ネットワーク」、「とっとり子どもの居場所ネットワーク“えんたく”」の一員として県内の地域・子ども食堂へ提供する活動を継続しています。

フードドライブ事業は、家庭で食品ロスにつながりそうな常温食品をお預かりし、地域の福祉団体や施設、フードバンクなど支援団体を通して食の支援を必要とする方や地域・子ども食堂などで活用いただく活動です。「鳥取県せいきょうまつり」やココステーションでの受け付けを行い、2024年度は、990点(1.5t)の寄付食品が集まりました。

くらし助け合いの会



庭の草取りの様子

くらし助け合いの会は、住みなれた地域で安心して暮らし続けられるよう、ちょっとしたくらしの困りごとを組合員同士が助け合い合う仕組み(有償ボランティア)です。鳥取県生協の組合員であれば、だれでも参加できます(入会、年会費はありません)

被災地支援



2024年に発生した能登半島地震及び能登豪雨災害では、

被災地を支援するための災害支援募金に取り組み、日本生協連を通じて6,952,900円を被災地へ送付しました。また、職員による配送支援や共済の契約者訪問活動などの支援にも取り組みました。

2024年度は、生協しまねと「災害時相互支援に関する協定」を締結しました。

地域支援

2022年4月に、米子市永江地区自治連合会と「地域支援活動に関する協定」を締結しました。自治連合会が運営されている「支え愛の店ながえ」を拠点に、お弁当や個人配達、くらし助け合い活動など、生協の事業を通じて住民の方に寄り添い、住民主体での地域づくりをすすめます。



米子市永江地区自治連合会と「地域支援活動に関する協定締結式」

環境

温暖化防止とCO₂削減の取り組み

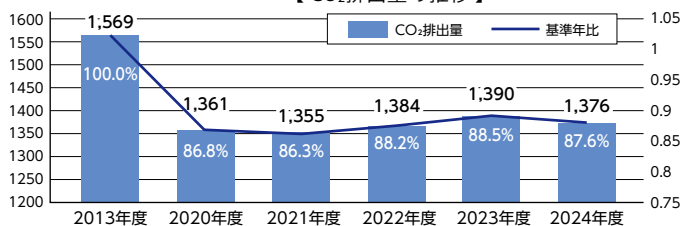
2024年度のCO₂排出量は、前年度より14トン減少し、1,376トンと前年比98.9%の実績でした。電気、配送車両軽油、OA用紙の使用量は減少していますが、商品センター内のLPG使用量、車両用ガソリンの使用量は増加しました。

鳥取県生協では、独自に策定したSDGsアジェンダで、CO₂排出量を2030年度までに2013年度比で46%削減を目標としています。

自然と共生し、脱炭素と循環型の社会を目指して



【CO₂排出量の推移】



【2024年度 鳥取県生協の環境負荷】

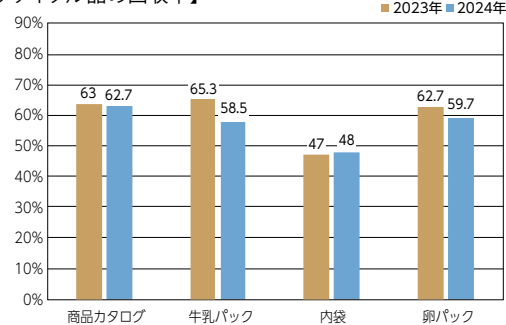
		前年比	前年差
●電気	1,432,352 kWh	98.2%	-25,074 kWh
●LPG (商品センター空調用)	1894.8㎡	113.3%	+223.8㎡
●車両燃料			
ガソリン	36,536 L	111.1%	+3,678 L
軽油	147,757 L	99.2%	-1,093 L
●OA用紙	15,331 kg	92.9%	-1,166 kg
●CO ₂ 排出量	1,376 t	98.9%	-14 t
●一般廃棄物	8,057 kg	96.6%	-278 kg

組合員のリサイクル活動



配送時にお渡しする商品カタログや、紙パック、内袋 (お届け商品が入っている袋)、卵パック等の回収リサイクルに取り組んでいます。

【リサイクル品の回収率】



CO・OP虹の森



2024年度 CO・OP虹の森

2009年より「とっとり共生の森」事業に参画し、鳥取県、倉吉市、中部森林組合等と維持管理契約を結んで、倉吉市富海のまきば「CO・OP虹の森」での森林保全活動を行っています。

11月に、枝打ちや林道整備などの森林保全活動、紙芝居「森の循環」のお話を通して森の役割や大切さについて学ぶ交流会を開催し、組合員や職員とその家族、富海地区の方など約80名が参加しました。

もずく基金



糸もずく収穫のようす

もずく基金対象商品を購入すると、1商品につき1〜2円が基金に積み立てられて「サンゴ礁再生事業支援協議会 (恩納村漁協)」に寄付され、沖縄の豊かな海を守る活動に使われる「もずく基金」に取り組んでいます。

2024年度は、鳥取県生協から17万6千円を寄贈しました。

夏には、もずくの産地を親子で訪れ、海の現状や沖縄の歴史風土に触れる「もずく産地見学親子交流会」を開催しました。



みんなが 笑顔で暮らせる 地域社会を目指して



社会的取り組み

平和の取り組み

7月に東部・中部・西部の各エリアで「平和のつどい」「ピースリレー」を開催し、被爆体験講話、折り鶴昇華体験など、関係団体と協力し平和について触れる取り組みを行いました。8月には「ピースアクション in ヒロシマ」を開催し、16家族27名の組合員と職員2名が広島の実相や平和について学びました。9月には、「平和のための戦争展」を開催し、被爆ピアノを後世に継承する取り組みを行っている矢川光則さんや、シンガーソングライターの浜田真理子さんをお招きした被爆ピアノ演奏会を行いました。毎月発行している通信「LOVE & PEACE」を通じて、平和の取り組み紹介やユニセフ活動の紹介を行いました。



平和行進



ピースアクション in ヒロシマ



平和のための戦争展

地元スポーツ団体と一緒に健康づくり

地域で活躍するスポーツ団体と協力し、健康づくりにつながる取り組みを行いました。

9月には地元鳥取のプロサッカーチーム「ガイナレ鳥取」が実際に試合を行う芝生の上を思いっきり走ったり、ボールを使った遊びを楽しむイベントを開催し、48組の親子が選手との交流を楽しみました。

12月には、「チアフル鳥取」とバドミントンを通じた健康づくりイベントを開催し58名が体を動かして楽しみました。



ガイナレとの集合写真



コミュニケーション バドミントン

子ども110番

鳥取県教育委員会の後援を受けて、生協配送トラックなどでの県内パトロールをはじめ、生協施設及び県内17ヶ所のココステーションを子ども達の緊急避難場所、警察への通報場所として定め、地域社会への貢献を目指しています。



中山間集落見守り活動

「鳥取県中山間集落見守り活動」に賛同し、県内の全市町村との協定に基づいた事業活動中の地域見守り活動を実施しています。

※「鳥取県中山間集落見守り活動」とは、中山間地域等で活動する事業者と行政機関が連携し、中山間地域住民の異常などを早期発見した際に連携して適切な対応ができる体制を整備し「安全で安心して生活できる地域づくり」を行う取り組みです。



ふなおか共生の里づくり

鳥取県が進める「とっとり共生の里」づくりの一環として「食と農をつなぎ、美しい里山を再生と賑やかで元気な地域をつくっていくこと」を目的とした「ふなおか共生の里づくり活動協定」を2011年3月に県内13団体と結びました。2021年には、活動の継続とさらなる地域づくりを進めるための再締結を行いました。

2024年度も、生産者・消費者、地域住民の交流を通じての農業体験、食農活動と環境保全活動を目的に、きんか芋（じゃがいも）の植え・収穫体験を実施しました。



きんか芋の収穫体験のようす

職場環境の整備

安全運転



配送前の車輛点検

交通事故や交通違反の防止を目的に、「安全運転管理者会議」を毎月開催しています。会議では運転中の「ヒヤリハット」事例等を共有するとともに、事故の未然防止対策を協議し防衛運転に繋げる取り組みを行っています。また、新入協の職員には自動車教習所での安全運転講習や内部トレーナーによる知識やスキルの習得を実施しています。

配送効率の見直し



マップシステムを活用した配送効率の改善

配送効率の改善を実現するために、マップシステムを導入し、このシステムを活用した配送コースの見直しを随時行っています。配送効率の改善により、配送移動距離を短縮し、燃料削減やCO₂の排出削減を目指しています。

「せいきょうキッズ職場体験」 「グリーンカード」



職員によるアイデア提案をきっかけに、家族にも“生協のお仕事”を理解して魅力を感じてもらうとともに、親子の絆が深まることを目的とした「せいきょうキッズ職場見学会」を開催しました。

職員同士が互いに感謝の気持ちを伝え合う「グリーンカード」を実施し、お互いを気遣い思いやる職場環境づくりを目指しました。

職員同士の学び合いの場づくり



職員の実践的な事例に触れ、具体的な行動につなげることを目的とした「実践事例発表交流会」や、生協の理念や歴史、商品等について学ぶ「生協学校」を開催しています。一人ひとりが主体的に学び合いながら、知識やスキルの習得と個々の成長を目指す取り組みです。

鳥取県生協のSDGsアジェンダ

スローガン「みんなが幸せにくらせる社会を目指して」のもと、

「福祉」「エシカル」「環境」「平和」をキーワードに具体的なアクションプランとして4つの行動指針で構成しています。

また、共通の基本概念として「パートナーシップで目標を達成しよう」を掲げています。

行動指針01 福祉のSDGs

一人一人が自分らしさを発揮し、
お互いに認め合い、助け合いながら
よりよい暮らしを共に創造し、
みんなが幸せにくらせる社会を目指します。

- 鳥取県生協が、暮らしと健康を支える生活インフラとして地域に欠かせない存在であり続けるために、自治体や諸団体との連携を大切にしつつ、誰もが安心して利用しやすい事業やサービスを創るための取り組みを継続し地域社会づくりに参加します。
- “参加がもたらす価値”を共有し広げながら、組合員一人一人の多様性を尊重し支え合える組合員活動を目指します。
- 職員みんなが健康で元気にそれぞれの個性を認め合いながら活躍できる職場をつくります。



対応する主なSDGs



対応する主なSDGs

行動指針03 環境のSDGs

豊かな地球環境を未来のこどもたちへ
つなげていくために、自然と共生し、
脱炭素と循環型の社会を目指します。

- 省エネルギーや再生可能エネルギーの開発・導入等を通して、地球温暖化防止と持続可能な地域づくりに貢献します。鳥取県生協の事業活動から排出される温室効果ガス(CO2)を、2030年度に2013年度比で46%削減します。
- 食品ロスや使い捨てプラスチック削減の取り組みをすすめます。また、共同購入のカタログ、牛乳パック、商品袋などの回収リサイクル運動を促進します。
- 組合員とともに環境保全活動を推進し自然共生社会を目指します。

行動指針02 エシカルのSDGs

持続可能な生産と消費のために、
つくる責任つかう責任を考えて
行動し、商品とくらしのあり方を見直していきます。

- 人や社会、地域、環境に配慮した商品の利用普及や理解を広げる活動をすすめ、「エシカル消費」を推進していきます。
- 生産者・産地やメーカー・取引先と組合員・職員との交流を深め、持続可能な生産と消費に向けて、それぞれの思いや責任を共有実感できる取り組みをすすめます。
- 健康づくりの視点で、安心安全な商品づくりとともに、食のつくり手への感謝の気持ちや元気な体づくりを育む食育の活動をすすめます。



対応する主なSDGs



対応する主なSDGs

行動指針04 平和のSDGs

世界から飢餓や貧困をなくし、
戦争や核兵器のない
世界平和の実現を
目指す活動をすすめます。

- 世界中の飢餓や貧困などの様々な問題についての理解を深め、ユニセフ協会などと連携して世界の子どもたちを支援します。また、生活困窮者や子ども食堂への支援に取り組みます。
- 核兵器廃絶、被爆・戦争体験継承の取り組みを通じて、日本国憲法の基本原則である平和主義を大切に平和な社会を目指す活動をすすめます。
- 自然災害などによる被災地の復興支援活動に取り組みます。災害に備え防災・減災の学びや自治体・諸団体との連携をすすめます。



パートナーシップで
目標を達成しよう



鳥取県生活協同組合

本部所在地／鳥取県鳥取市河原町布袋597番地1

TEL 0858-85-0001 FAX 0858-85-0002

<https://www.tottori.coop/>

